

かながわの交通

2019
7

交通安全年間スローガン受賞作品(内閣総理大臣賞)
～一般部門(A)～ 運転者(同乗者を含む)へ呼びかけるもの

チャイルドシート ちいさなVIPの 指定席



第50回交通安全こども自転車神奈川県大会

(横浜市中区)



道路横断には気をつけて!

高齢歩行者の事故が増えています。

油断大敵! 運転者も歩行者もルールを守って
交通事故防止に努めましょう!

歩行者
事故
多発!

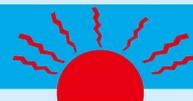
◎県内の交通事故発生概況(令和元年6月末現在) ◎県人口・運転免許人口

年別	区分	発生件数	死者数	傷者数		総数	男	女
令和元年		11,388	67	13,277	県人口	9,199,871	4,586,508	4,613,363
平成30年		12,856	71	15,245	免許人口	5,652,110	3,225,874	2,426,236
増減数		-1,468	-4	-1,968	割合	1.6人に1人	1.4人に1人	1.9人に1人
増減率		-11.4%	-5.6%	-12.9%				

(県人口は令和元年6月1日、免許人口は令和元年5月末現在)



夏の交通事故防止運動



期 間 7月11日(木)～7月20日(土)の10日間

目 的 夏のレジャーなどに起因する過労運転や、夏特有の解放感による無謀運転などにより交通事故が多発することが懸念されることから、県民一人ひとりが交通安全について考え、交通ルールの遵守と交通マナーの向上に取り組むことを通じて、交通事故防止の徹底を図ります。

スローガン **安全は 心と時間の ゆとりから
交通ルールを守って 夏を楽しく安全に**

- 重 点**
- 1 過労運転・無謀運転の防止
 - 2 子どもと高齢者の交通事故防止
 - 3 自転車の交通事故防止
 - 4 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
 - 5 踏切の交通事故防止



二輪車事故防止強化月間の実施結果

6月中、神奈川県交通安全対策協議会が主唱して「運転に ゆとり やさしさ 思いやり」をスローガンに、二輪車事故防止と二輪運転者の交通安全意識を高める運動を県民総ぐるみで推進しました。各地区交通安全協会の取組み、活動につきましては、本紙巻末にも一部紹介しています。



6月中及び6月末の二輪車の関係する事故は、発生件数、死者数、負傷者数いずれも減少しました。特に6月末現在の死者数の構成率は、昨年 33%を超えていましたが、今年は 30%を下回っています。

◎ 県内の二輪車事故発生状況 (概数)

	6 月 中			6 月 末		
	発生件数	死 者 数	負 傷 者 数	発生件数	死 者 数	負 傷 者 数
令和元年	502	2	447	3,154	20	2,837
平成30年	527	6	471	3,418	24	3,075
増減数(率)	-25	-4	-24	-264	-4	-238
構 成 率	27.0	22.2	20.8	27.7	29.9	21.4

※ 構成率は全交通事故件数、全死者数、全負傷者数に占める二輪車事故の割合

第50回交通安全こども・第8回高齢者自転車神奈川県大会

第50回交通安全こども自転車神奈川県大会及び第8回交通安全高齢者自転車神奈川県大会が、7月6日(土)横浜市中区の横浜文化体育館で開催されました。

● こども自転車大会 **開成町立開成小学校が優勝**

こども自転車大会には、計17チーム、68人の選手の参加があり、各チームは会場に到着後、9時から学科テストに臨みました。開会式では昨年の優勝校から優勝旗が返還され、本大会岡副会長、県警察本部中崎交通部長の挨拶、来賓の紹介、審判長注意が行われた後、実技テスト(安全走行、技能走行)が開始されました。

大会の結果、こども自転車大会の団体では、開成町立開成小学校チーム(井上実咲・6年、小沼宥輝・6年、中谷友美・6年、菅野太陽・6年の各選手)が優勝、個人では、開成町立開成小学校の中谷友美選手が見事総合優勝に輝きました。

優勝した開成小学校チームは、8月7日(水)に東京ビッグサイトで開催される「第54回交通安全子供自転車全国大会」に神奈川県代表として出場する予定です。



(こども大会優勝チーム)
(開成町立開成小学校)

こども自転車大会の結果

● 団体成績

優勝	開成町立開成小学校
第2位	厚木市立清水小学校A
第3位	開成町立開成南小学校
第4位	厚木市立清水小学校B
第5位	横浜市立小田小学校
第6位	横浜市立八景小学校

● 個人成績(敬称略)

優勝	中谷 友美 (開成町立開成小学校)
第2位	下楠 蘭 輝 (厚木市立清水小学校B)
第3位	若松 未和 (厚木市立清水小学校A)
第4位	林 優子 (厚木市立清水小学校A)
第5位	菅野 太陽 (開成町立開成小学校)
第6位	石井 銀二 (厚木市立清水小学校A)



高齢者自転車大会

厚木チームが優勝

● 団体成績

優勝	厚木チーム
第2位	栄Bチーム
第3位	中原Aチーム



こども大会の後に行われた安全走行と技能走行テストを一課題とする65歳以上(3人一組でチーム編成)の高齢者自転車大会には、9チーム27人参加があり、厚木チーム(厚木警察署管内交通安全協会=西山嘉嗣、小島文雄、宮下義之の各選手)が子どもチームとの訓練成果を發揮して、「おじいちゃん、がんばれ」などの声援を受けて昨年に続いて四連覇を飾りました。



(高齢者大会優勝チーム)

第10回評議員会・第28回理事会の開催

6月18日(火)午後2時から県協会会館において、第10回評議員会、引き続いて第28回理事会を開催しました。評議員会では、石坂会長挨拶、来賓として県警察本部中崎交通部長の挨拶、関口評議員長の挨拶に続いて「平成30年度神奈川県交通安全協会事業報告」、「平成30年度神奈川県交通安全協会決算報告」のほか、評議員等の改選について審議した結果、原案通り承認されました。



(第10回評議員会)

地区交通安全協会新会長紹介(敬称略)



[相模原北]
矢部 松雄
(令和元年5月30日付)



[高津]
持田 知介
(令和元年5月29日付)



[栄]
興石 稔
(令和元年6月13日付)



[緑]
鈴木 正雄
(令和元年5月31日付)

地区交通安全協会事務長会議の開催

6月26日(水)県協会会館において、県内の各地区交通安全協会の事務長が一堂に会して「地区交通安全協会事務長会議」を開催しました。

会議では県交通安全協会の菅原専務理事の挨拶、来賓として県警察本部滝口交通総務課長の挨拶に続いて、県協会事務局から平成31年度の事業計画や各部の活動状況等について報告を行いました。県警察と県くらし安全交通課担当者からは交通事故概況その他連絡事項について説明がありました。



TSマーク貼付推進優秀自転車安全整備店の表彰 (平成30年度中)

サイクルオリンピック…… 川崎鹿島田店、鶴見中央店、綱島樽町店、
東戸塚店、平塚湘南シティ店、今宿店、
港北ニュータウン店

ダイワサイクル …………… 幸店、川崎野川店、川崎多摩店



点検整備に伴うTSマークの貼付推進を通じて、自転車の交通事故防止と被害者救済に貢献したTSマーク貼付推進優秀自転車安全整備店として、本県からは10店舗が選ばれました。

各店舗には県協会の長澤事務局長等が赴いて、(公財)日本交通管理技術協会からの感謝状と副賞を店長等に伝達(写真)

したところ、「受賞は励みになります。これからもTSマ



ークの普及を通じて交通事故防止、補償等についてトアドバイスをしていきたい。」など受賞の喜びを語っていました。

(港北ニュータウン店)

令和元年度交通安全ファミリー作文コンクール

家庭をはじめ、学校、職場、地域等において、交通安全について考え、話し合った内容や方法、その結果実行していることなどを作文に書いてご募集ください。

《応募期間》

令和元年6月20日(木)から9月10日(火)まで ※当日消印有効

《応募区分》 ●小学生の部 ●中学生の部 ●高校生・一般の部

※ 賞、副賞、表彰、応募方法その他詳細については、下記までお問い合わせください。

《お問い合わせ先》

事務局 (株)海風社内「交通安全ファミリー作文係」 ☎ 06 (6586) 6227

警察庁交通局交通企画課交通安全ファミリー作文コンクール担当 ☎ 03 (3581) 0141

<http://www.npa.go.jp/bureau/traffic/sakubun/index.html>

E-mail:sakubun@kaifusha.co.jp



交通事故の悲劇に学ぶ ⑦

●もう逃げない 会社員 (27歳)

私は夢に向かって一生懸命働き、何もかもが上手く進み、彼女とも婚約する約束でした。そう、あの事件を起こす前までは・・・

事件の前日、昼夜勤務を4回繰り返し自分自身も分るほど疲労が溜まっていた。無事に夜の仕事も終え、気付いたら日も変わっていたので、早くベッドの上で寝ようと家に帰ることにしました。仕事を終えた安心からか、途中、強い睡魔に襲われたため、私はそのまま運転したらずいっと車を路肩に止め、取り敢えず車内で寝ることにしました。途中気が付いたら外が明るくなっていたため、私は早くベッドの上で寝たいという気持ちや、ちょっと寝たから大丈夫だという気持ちに駆られ、運転しました。

しばらくすると、また強い睡魔に襲われましたが、今度は車を止めることなく、逆に窓を全開にして、CDを聴いて、自分なりに睡魔と戦っていました。しかし、気が付いた時には大きな衝撃音とともに、目が覚め、何が何だか分からず、アクセルを踏んだところ、柔らかい何かを乗り越えてしまいました。そこで恐怖心を覚え、もしかすると人を轢いたのではないかと思い、頭の中がパニック状態になり、車を止めることなく、その場から逃げてしまいました。しばらくすると、警察の方から「今日の何時に事故を起こしませんでしたか。人が倒れているという通報があり、目撃者が車のナンバープレートを見ていたので電話をさせて頂きました」と言われ、私はそこで初めて人をはねてしまったのだと実感しました。

私はすぐさま「被害者の方は大丈夫ですか」と聞いたところ、「今どちらに居ますか。その場を離れず待っていて下さい」と言われました。しばらくすると、警察官の方が到着し、「とりあえずパトカーの中まで来て下さい」と言われ、パトカーに入りました。そして、警察官から「被害者の方は病院に搬送されたのですが、亡くなれました」と告げられ、私は頭の中が真っ白になり、ずっと車の中で泣きました。私は人としてやってはいけないことを、取り返しのつかないことをしてしまい、言葉にならない気持ちでいっぱいでした。

私は現在懲役3年8月の実刑判決を受け、市原刑務所で日々反省し、一日一日を大切に過ごしております。受刑生活を送る中で、私は何度も後悔しています。今さ



らですが、過去には戻れません。謝っても許されることはありませんが、心の底から大変申し訳ない気持ちになりました。私はもう逃げません。私はこの現実を受け止め、嫌なことから逃げずに一生を掛けて償いをしていきたいと強く思いました。

私はまだ直接、被害者ご遺族に謝罪をしておりません。しかし、私が書いた謝罪文とともに家族、上司が、弁護士を通じて私の代わりに謝罪をしてくれました。被害者ご遺族は保険金だけでいいと仰り、私が書いた謝罪文は仏壇の上に一緒に供えて置きますと約束してくれました。話し合いの中で、私が救護しなかったことを物凄く怒っていました。しかし、私よりも会社側に対しての怒りの方がもっと凄かったと家族を通じて聞かされました。この事件によって会社の評判が悪くなり、家族は近所の方々に冷たい視線で見られ、日々生活しております。

私は自動車という乗り物のルールを守らず、凶器に変えてしまいました。私はこのような悲惨な出来事を二度と犯さない為に市原刑務所のルールをちゃんと守り、そして私が犯した罪と正面に向き合い、被害者の方への償いをしていきます。どんなに謝罪してもご遺族の悲しみや怒りが消えることはないでしょう。それでも私に出来る限りの償いを一生続けたいといけません。償いに答えなどありませんが、償いとは何なのかを一生懸命考えたいと思います。

～(一財)東京都交通安全協会編集発行

「贖いの日々(第53集)」から～

賛助会員の紹介

このコーナーでは、(公財)神奈川県交通安全協会の交通安全活動に賛同し、賛助会員としてご協力をいただいている企業等を順次ご紹介しています。(敬称略)

- キリンビール(株)横浜工場 ————— 横浜市鶴見区生麦
- 日産自動車(株)横浜工場 ————— 横浜市神奈川区宝町
- 横浜トヨペット(株) ————— 横浜市中区山下町

この人

159



（財）中原交通安全協会
会長
あさやま ひでお
朝山 秀男さん



今回ご紹介する朝山会長は、二度目の登場となります。

前回は一般財団法人中原交通安全協会の会長に就任したばかりの平成26年8月（平成26年5月就任）でした。

もう5年も過ぎたとは思えないほど会長はお変わりがなく、元気でやる気に満ちています。

就任当初から現在も毎月1日、15日の交通安全日はもちろん、各季の交通安全運動期間中には、毎朝、当協会の広報車で地域を回って、街頭活動を行っている交通指導員や地域のボランティアの皆さんにお声をかけています。

最近、中原区では高層マンションが増え、新しく区民となる方が著しく増えています。

長年地元を支えてきた方との生活パターンの違い、考え方の違いがある中、地域の特徴を活かした各種キャンペーンを行ったり、共に活動できるような場を設けたりして、中

原区ならではの交通安全活動を推進し、会長自ら当交通安全協会をPRして下さっているのも、職員、交通指導員をはじめ、みな心強く感じております。

会長は、このような長年の功労が認められ、平成27年1月「交通栄誉章緑十字銀章」を受賞されました。

会長の趣味はオートバイによるツーリングです。

「北海道から九州まで制覇した」と言うぐらい日本全国をバイクで走り回っています。

晴れ男の会長は、いつも真っ黒に日焼けしてツーリングから戻ってきます。私たち職員は、会長のお土産やツーリング中のお話を楽しみにして待っております。

会長、これからも無事故無違反でオートバイを楽しんでくださいね。

（取材協力：中原交通安全協会）

こんにちは
「海老名市交通安全協会」です

海老名市交通安全協会は、平成13年5月海老名警察署の発足と同時に設立し、平成17年4月から海老名署が運転免許証の即日交付署となり14年目を迎えました。

当協会の主な交通安全活動を紹介させていただきます。はじめに、海老名駅前ナビウォーク自由通路を拠点に、警察、市交対協、交通指導員等安全協会員、関係機関団体、市のシンボルキャラクター「えびーにゃ」や市内の県立高校（海老名、有馬、中央農工）生徒達と連携を密にし、年間運動や各種の交通安全運動の啓発活動としてキャンペーンを実施しております。

特に、「えびーにゃ」は多くの市民に親しまれ、子供達に大変人気があり啓発活動には欠かせない存在となっております。

毎年、年末の交通事故防止運動初日に「年末の激励出陣式」を行い、高校生から激励の言葉を受け「無事故で年末 笑顔で新年」を合言葉として、高校生達の合唱やダンス・パフォーマンスを披露し、若者や高齢者一人ひとりに交通事故の悲惨さを訴え、交通事故防止啓発活動に努めております。

地域においては、市内17箇所に交通監視所を設置し、夜間の立哨活動やキャンペーンを行い、通行車両・歩行者・自転車利用者等に反射材等を配布し、夜間の交通事故防止を呼びかけています。

また、交通安全活動の一環として、平成20年5月に海老名警察署長より「地域安全パトロール活動団体」の委嘱を受け、さらに警察本部長から「青色回転灯を装備するパトロール団体」の承認を受け、毎月1日・15日は学童の登下校時にパトロールを実施し、市民の交通事故防止はもとより、安全・安心



まちづくりに貢献しています。

窓口業務では親切丁寧をモットーに、各協会の「交通安全のしおり」の啓発活動を紹介し、地域の交通ボランティア活動に一人でも多くのご協力を頂けるよう努めていきます。

これからも、警察、市、交通関係機関・団体等のご協力をいただきながら、地域に溶け込んだ交通安全活動を推進し悲惨な交通事故を1件でも減らし、安全・安心まちづくりの一助となるよう努めて行きたいと思っております。

（藤城 記）

地区交通安全協会の活動紹介



神奈川 国道15号での二輪車交通事故防止キャンペーン



藤沢北 湘南大庭市民センターでの自転車街頭点検



平塚市 平塚駅周辺での二輪車交通事故防止キャンペーン



山手 本牧地区での交通事故防止キャンペーン



磯子 国道16号沿いのGSでの二輪車交通事故防止キャンペーン



都 筑 センター南駅前での交通事故防止キャンペーン



津久井 鳥屋ふれあいの館前で二輪車交通事故防止キャンペーン



泉 環状4号線での二輪車交通事故防止キャンペーン



相模原南 国道16号での二輪車交通事故防止キャンペーン



厚木警察署管内 清水小学校での交通安全こども自転車大会激励会

二輪車交通事故防止強化月間

インフォメーション

● 第54回交通安全子供自転車全国大会

8月7日(水) 東京ビッグサイト